

## 会 議 録

会議の名称	令和2年度 第4回 所沢市上下水道事業運営審議会
開催日時	令和2年11月26日(木) 14時から16時30分まで
開催場所	上下水道局庁舎 3階 大会議室
出席者の氏名	越阪部 眞、柿木 薫、金子 修三、北野 大、工藤 佳代子、 小橋 さとみ、齋藤 賢吾、高橋 巳喜次、平本 登(50音順)
欠席者の氏名	
説明者の職・氏名	
議題	(1) 所沢市水道ビジョンの策定について (2) 所沢市水道事業経営計画の策定について (3) 令和元年度 所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について (4) その他
会議資料	・ 令和2年度 第4回所沢市上下水道事業運営審議会 次第 ・ 資料4-1 所沢市水道ビジョン(素案) ・ 資料4-2 所沢市水道ビジョン 委員提出意見一覧 ・ 資料4-3 所沢市水道事業経営計画(素案) ・ 資料4-4 所沢市水道事業経営計画 委員提出意見一覧 ・ 資料4-5 収支シミュレーション ・ 資料4-6 水道料金比較表 ・ 資料4-7 令和元年度上下水道局施策事業の進捗状況について(案)

担 当 部 課 名	上下水道局	局長	北田 裕司
	上下水道局	次長	肥沼 宏至
	上下水道局	総務担当参事	磯 稔
	上下水道局水道建設担当参事		松山 幹明
	経営課	課長	小池 純一
	窓口サービス課	課長	細田 和彦
	給水管理課	課長	根岸 清
	下水道整備課	課長	岩崎 幸司
	下水道維持課	課長	吉田 進一
		(事務局)	
	経営課	経営戦略担当主幹	田島 幸雄
	〃	主査	東 和秀
	〃	主任	河野 太郎
		上下水道局経営課	電話04(2921)1087

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>1. 開会（事務局により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北野会長挨拶</li> <li>・資料の確認</li> <li>・会議の成立の報告</li> </ul> <p>2. 北野会長の議事により進行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・傍聴希望者の確認（傍聴人なし）</li> </ul> <p>3. 議事</p> <p>(1) 所沢市水道ビジョンの策定について</p> <p>北野会長 議題「(1) 所沢市水道ビジョンの策定について」事務局より説明をお願いします。</p> <p>経営課長 (資料 4-1 に基づき説明)</p> <p>北野会長 ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたらお願いします。</p> <p>北野会長 P. 18 表 2-5 に「水道管の耐震化率」とありますが、これは年を追うにつれて増加していくものではないのですか。</p> <p>水道建設担当参事 毎年耐震化を進めていますが、平成 29 から 30 年度までは「耐震管」ではなく、「耐震適合管」を使用していたため、耐震化率は若干低下しています。</p> <p>北野会長 平成 27 から 29 年までは、耐震化率が徐々に低下していて、平成 30 年にも 0.4%しか上昇していません。耐震化工事をしていけば、もっと上昇するものなのではないかと思うのですが。</p> <p>上下水道局次長 先ほど水道建設担当参事から説明させていただきました耐震適合管とは、耐震管には耐震性能が劣るものの、地盤によっては耐震性を有するとされている水道管です。構造的には、水道管の継手部分に抜け防止の加工がされているか否かであり、耐震適合管は抜け防止機能がない代わりに、水道管をつなぐ際の余長を長くとした構</p>

	<p>造となっています。本市は地質の条件が良いことから、耐震適合管を採用していました。現在は全て耐震管を使用しています。</p> <p>通常、非耐震管を耐震管に更新すると、耐震化率が向上しますが、老朽化した耐震管を更新する際に、布設経路の見直しが行われ、布設延長が短くなった結果、耐震化率が低下した可能性もあります。いずれにせよ十分精査させていただきます。</p>
北野会長	<p>耐震適合管であれば耐震化率に寄与しても良いと思います。この表では 6 年間の推移として耐震化率が全く向上していないことから、誤解を招く恐れがあります。</p>
経営課長	<p>会長ご指摘の通り、誤解を生じかねない表現となっているのは事実ですので、本文はご覧いただく方に誤解が生じないように修正していきたいと思います。</p> <p>なお、本市における耐震適合管の割合は、ほぼ 100%に達しており、現在は耐震適合管から耐震管への変更が進んでいるところでありますので、ご安心いただきたいと思います。</p>
高橋委員	<p>細かい誤りがありますので、別途事務局へ伝えさせていただきます。なお、白紙のページについては、何か PR 等を入れた方が良くのではないかと思います。</p>
経営課長	<p>検討させていただきます。</p> <p>(2) 所沢市水道事業経営計画の策定について</p>
北野会長	<p>議題「(2) 所沢市水道事業経営計画の策定について」事務局より説明をお願いします。</p>
経営課長	<p>(資料 4-3 に基づき説明)</p>
北野会長	<p>ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたらお願いします。</p>
高橋委員	<p>計画に SDGs の記載をしたことは素晴らしいと思いますが、ゴール 5「性差なく市民に水道サービスを提供します」の記載があると、今までにそのようなことがあったのかと思われてしまいます。また、ゴール 1 の貧困対策についても、所沢の上下水道事業が貢献す</p>

	<p>ることは難しいと思います。</p>
経営課長	<p>ゴール1につきましては、現在、TICAD 債などの社会貢献債と呼ばれる資金運用を行っています。これを通じて貧困対策等に対しても貢献できると考えております。</p>
北野会長	<p>そのようなものがあるのですね。ゴール1については理解できました。ゴール5については、検討いただければと思います。</p>
北野会長	<p>これまで「安全・安心」と言ってきました、ビジョンにおいて、これからずっと先のことを議論する中で「おいしい水」というところについては特に議論をしてこなかったと思いますし、特にビジョンにも記載がなかったと思います。</p> <p>安全・安心の次の段階として、ビジョンのどこかに記載が必要ではないかと思います。</p>
金子副会長	<p>確かにブレインストーミングでも意見として出ていました。</p>
経営課長	<p>現在、経営計画を確認していただいておりますが、P.37③に、高度浄水処理に向けた県への要望という記載があります。おいしさについては個人の感じ方の問題もあるので、記載は難しいかと思いますが、ここでは「安全で安心、良質な水道水」と置き換えて記載しています。</p>
北野会長	<p>記載についてはわかりませんが、やはりビジョンは将来性と夢を示すものだとして認識しておりますので、「おいしい」という表現を記載した方がよいと思います。</p>
上下水道局次長	<p>厚生省（当時）が設立した「おいしい水研究会」による「おいしい水の要件」というものがありますが、所沢の水は其中で温度だけが該当しない状況となっています。そのために「おいしい水」と呼称できない状況となっています。</p>
高橋委員	<p>ビジョンのP.38、6-1の部分を見ると、初めに「おいしく飲める水道水」と記載があります。今の理屈では、この記載も削除しなくてはいいませんが、目指すべき方向性というところもありますし、このままでよいのではないかと思います。</p>

事務局	高橋委員ご指摘のとおり、「おいしさ」についてはビジョンに記載しております。これを受けた経営計画におきまして、高度浄水処理について県に要望するといった具体策の記載となっておりますので、ご了解いただきたいと思えます。
北野会長	了解しました。
高橋委員	<p>P. 30 の SDGs の記載について、フードドライブ活動は、余っている食べ物を、困っている方に融通する事業なので、ゴール 2 に含まれると思うのですが。</p> <p>また、ゴール 16 は「司法へのアクセス」とあり、法の支配や、人権に重きを置いた項目だと思います。そこに対して、業務の有効性等といった内容は違和感を覚えます。</p>
経営課長	<p>ゴール 16 ターゲットとしては「あらゆるレベルにおいて、有効で説明責任のある、透明性の高い公共機関を発展させる。」とありますので、記載させていただいたものですが、内容について改めて検討いたします。</p> <p>また、フードドライブ活動に係るゴール 2 への標記につきましても、改めて確認いたします。</p>
高橋委員	目標がもう少し広く記載されていればわかりますが、現在の記載では「司法へのアクセス」という部分に注目してしまうので、疑問を感じるのではないのでしょうか。
経営課長	記載内容について検討いたします。
北野会長	引き続き、資料 4-5 について説明をお願いします。
経営課長	(資料 4-5 に基づき説明)
北野会長	ただ今の説明につきまして、疑問等ありましたらお願いします。
高橋委員	令和 12 年度が黒字になっていないと、国に示せないとの説明がありましたが、他の団体を確認すると赤字で策定している場合も多いようです。また経営戦略策定マニュアルの P. 41 の国が示す記載例では、「投資・財政計画では 5~10 年後に収支不均衡となるため、

<p>経営課長</p>	<p>経営戦略の計画期間の中間地点となる5年後、計画期間を終了する10年度に再度収支見込、料金改定を検討する。」と記載があります。つまり、赤字であっても、料金改定の検討に入るなどの方針を記載するのではだめなのでしょうか。</p> <p>本来、経営計画を策定する趣旨は、赤字経営とならないため、自立した事業経営として継続していくためです。そうした観点から、赤字になる計画は趣旨に反するものと考えています。高橋委員のご意見の通り、赤字の計画を策定し、文言でカバーすることはできると思いますが、それでは前回の審議会でご意見のありました「無責任な計画」になってしまうのではないかと危惧しています。</p>
<p>北野会長</p>	<p>前回もこのままで良いというのは無責任ではないかとの意見があったかと思います。収支を改善するためには料金値上げが必要であり、そこをどのように見ていくかというのが本日の議論かと思います。もちろんシミュレーションには仮定の部分が多くありますので、そのようなものとして考える必要はあろうかと思います。</p> <p>企業債の残高は常に残っていくのでしょうか。料金値上げをしても何十億円もの残高があるようですが。</p>
<p>金子副会長</p>	<p>今後も水道管の更新投資が継続します。そのためビジョンに示される通り、これから20年間で1,300億円の投資が発生します。それだけの投資を行うには、企業債の増加はやむを得ないのではないのでしょうか。</p> <p>企業債の増加を料金値上げでどれだけカバーできるかということなのではないのでしょうか。</p> <p>シミュレーションでは令和8年には赤字になります。地方公営企業として、独立採算が求められていますので、令和8年度の料金改定は必須です。あとは黒字期間をどうするかということですが、5年間では10%、10年間では20%、20年間では27.5%の値上げが必要となります。</p> <p>企業債が増えるのは仕方ないですが、企業債と値上げのバランスをどうとっていくかということなのではないのでしょうか。黒字期間が短い方が値上げ幅は少なくて済みますが、その分将来世代の負担が重くなります。料金値上げについては、川口市が直近で25%の値上げを実施していることを考えると、20%値上げの10年間黒字という案が、バランスがとれていてよいかと思います。ある程度値上げ</p>

	<p>を抑制し、将来の子供達への負担を配慮した方が良いと思います。</p>
北野会長	<p>例えば 20%値上げのモデルケースで、月に 500 円程度の値上げになるわけですが、女性委員の方々はいかがでしょうか。</p>
小橋委員	<p>400 円程度であれば、値上げの理由について理解していれば問題ない金額だと思います。</p>
工藤委員	<p>月によってそのくらいの変動はあることなので、そこまで気にはならないのではないかと思います。</p>
柿木委員	<p>私自身は問題ないですが、私もフードパントリーという食糧支援事業を行っています。そのようなところにいらっしゃる方にとっては負担となるのではないのでしょうか。ただ、急激に料金が上がる方が苦しいでしょうし、3 択で提示されるとやはり中間が良いのかなと思います。</p>
北野会長	<p>現在の水道料金は、累進性ですか。例えば、水量が増えるほど安くなったりするのでしょうか。</p>
経営課長	<p>使用水量が増えるほど単価が高くなるようになっており、一般家庭の料金は安く、水を大量に使う事業者の負担が大きくなるようになっています。</p>
北野会長	<p>水量が 2 倍になると、料金は 4 倍になるようなイメージでしょうか。</p>
経営課長	<p>水量と料金は比例関係にあるわけではありませんので、料金表を見ていただくとわかりやすいと思います。（会長に料金表を提示）</p>
金子副会長	<p>基本料金と従量料金になっています。</p>
北野会長	<p>SDGs を踏まえて、節水意識を向上しなければならないというときに、一番良いのは料金体系を変更することです。必要と考えられる部分の料金は押さえて、不必要に多く使用した場合には、高額になるようにしても良いかもしれません。</p>



高橋委員	<p>収益的収支と資本的収支に分かれており、資本的収支の中に「補助金」という項目がありますが、補助金はほとんど該当しないということでしょうか。</p>
経営課長	<p>水道事業は、補助金に該当する工事は少なくなっています。収支の作成にあたっては、現状必要と考えられる事業と工事費並びに、現行の補助内容に基づいた補助金額を計上しています。</p>
高橋委員	<p>令和8年は赤字になっていますが、この赤字は、補填財源により補填されるということですか。また、収益的収支も資本的収支も、支出を減らすことはできないのでしょうか。</p>
経営課長	<p>今回、収支の作成にあたっては、必要な経費を精査し計上しています。例えば人件費などは、これ以上人員を減らすとなると、委託化を進めていくしかなくなってしまいます。また、工事費につきましても、更新にかかる費用は変わらないので、安心・安心といった部分が損なわれていくということになります。</p>
高橋委員	<p>例えば、令和12年には企業債が34億円計上されていて、工事費の51億円に対して企業債を34億円借りるということになっていますが、補填財源はまだ30億円程度保有しています。これは費用を企業債により賄った方が得ということでしょうか。</p>
経営課長	<p>今現在の補填財源残高は60億円程度ありますが、補填財源は30億円程度を常に保有している必要があると考えています。これは、自然災害等により緊急的な対応が必要となった場合、現金を保有しておく必要があるためです。基本的には、1年間の建設改良費と同等の額を保有しておく必要があると考えています。</p> <p>現在は2年分近く保有しているので、取り崩しながら使用していくものの、30億円を下回ってしまうような場合には、不足分を企業債で補填していくことになると考えています。</p>
北野会長	<p>答申の内容としては、他市と比較しても極端に高額になるようなこともないので、後の世代の負担も考え、10年間は黒字を維持できるように料金改定を実施することが妥当ではないかという内容で、いかがでしょうか。</p>

	<p>～一同了承～</p>
北野会長	<p>特に異論も無いようですので、収支計画としては、10年間は黒字を維持できるように進めていくものとします。</p>
経営課長	<p>この内容については答申にどのように反映させますか。</p>
北野会長	<p>ビジョンの中に入れ込むのではなく、答申の中に付帯意見として入れておきたいと思います。</p>
経営課長	<p>将来世代の負担や、経済的弱者への配慮についてなど、色々なご意見をいただきましたので、それを踏まえて事務局で付帯意見の案を作成させていただくということによろしいでしょうか。</p>
北野会長	<p>付帯意見とした方が、我々の意見として明確かと思しますので、その方がよろしいかと思いますが皆さまいかがでしょうか。</p>
	<p>～一同了承～</p>
	<p>(3) 令和元年度 所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について</p>
北野会長	<p>議題「(3) 令和元年度 所沢市上下水道局施策事業の進捗状況について」事務局より説明をお願いします。</p>
経営課長	<p>(資料 4-7 に基づき説明)</p>
北野会長	<p>この進捗状況の評価については、上下水道局内で利用されるということでしょうか。</p>
経営課長	<p>委員の皆さまからの評価、ご指摘に対して、上下水道局全体で対応していくという形で利用いたします。</p>
北野会長	<p>口座振替促進事業について、「成果が得られない場合については、方向性を含め、事業の見直しを求めます。」とありますが、これでは、成果がみられなければ事業を廃止してくださいと言っているように読めてしまいます。我々としては、色々な形で促進していくという意図だったと思いますが、皆さまいかがでしょうか。</p>

金子副会長	<p>口座振替が最も安価な収納手段ですので、積極的に推進すべきと考えています。現在実施しているキャンペーンについて、工夫が必要なのではないかという意図で、意見しているので、事業の廃止までを求めているわけではありません。</p>
経営課長	<p>副会長のご意見については、我々も承知していますが、他の委員の方から、数値については頭打ちではないかのご意見もいただいています。</p> <p>そのため、積極的に事業を実施した上で、それでも成果が出ないのであれば、これ以上は頭打ちなのではないかということで、記載したものです。</p>
北野会長	<p>そのような意見もあることを踏まえた上で、改めて皆さまのご意見を伺いたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
北野会長	<p>如何にして口座振替率を向上するか工夫すべきと考えていますが、現在の口座振替率は何%ですか。</p>
事務局	<p>73%程度であり、直近では減少傾向となっています。</p>
柿木委員	<p>全体の世帯数はわかりませんが、現在の子どもは6人に1人が貧困といわれています。その中で口座振替が73%というのは、私には高い数字のように感じます。</p> <p>毎月の支払いに苦労している方々を間近に見ているので、そのような状況の方には口座振替は難しいのではないのでしょうか。</p>
小橋委員	<p>今年については、新型コロナウイルス感染症の影響もありますので、定期的な収入がない方、経済的に苦しい方については、厳しいのではないのでしょうか。</p> <p>口座振替を進めた方が良いのはわかりますが、難しい方も一定数いるのではないのでしょうか。</p>
北野会長	<p>口座振替ではない場合の支払いはどうなるのですか。</p>
柿木委員	<p>コンビニ払いです。支払いが難しい場合は4か月までは待っていただいている、3か月目には社会福祉協議会等にも連絡いただいている、それでも支払いがないと、給水停止になってしまいます。そ</p>

<p>経営課長</p>	<p>れでも支払えない方がいるという現実があります。</p> <p>口座振替でない方は、「やっとお金が入ったので、払いに行きます。」といったような方もいます。</p> <p>口座振替促進事業については、経済的弱者の方は、ある意味対象外になるのではないかと思います。当局でも福祉につなげるなど、なるべく細やかな対応を心がけています。</p> <p>現在、1つの事業の中で、議論をしているので、意見が分かれてしまうのではないかと思います。福祉の視点については、局としても別に対応を行っています。</p>
<p>北野会長</p>	<p>例えば口座振替を登録しておいて、「今月は支払いが厳しいから待ってほしい」等の要望を聞くことはできないのですか。</p>
<p>窓口サービス課長</p>	<p>仮に、「今月は支払いが難しい」といったことがあれば、窓口にご相談いただいて、分割でお支払いいただくといったことも可能にはなっています。一時的に引き落としを止めることも可能です。</p>
<p>北野会長</p>	<p>口座振替については、困窮者の方への配慮はしつつも、消費者にとっても便利であるということを訴えて、拡大していくのが良いと思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>経営課長</p>	<p>評価の「なお、成果が得られない場合～」以降の表記については削除させていただきます。</p> <p>福祉的な視点については、口座振替促進事業とは別の取扱いになろうとは思いますが、引き続き、所管課にて適切に対応させていただきます。</p> <p>報告書の文面については、例えば、「福祉的配慮」といった言葉を入れるべきか否かについてなのですが、口座振替促進事業自体は、経費削減のための事業であり、主旨が異なってしまうので、あまり好ましくはないのではないかと考えます。</p>
<p>越阪部委員</p>	<p>今の表現では、表現が強すぎるのだと思います。「事業の見直し」という部分を、「口座振替を促進するための創意工夫」といった補足を入れるなどすれば、今のままだでもよいのではないのでしょうか。</p> <p>現在 73%の口座振替の率を 80%にしていこうという目標は間違っていないと思います。そのために、現在口座振替でない世帯に対</p>

北野会長	<p>して個別訪問を行ったり、チラシのポスティングをするといった方法の工夫や見直しが必要なのだと思います。</p> <p>柿木委員のおっしゃるような経済的に困窮している方への配慮については、また別に対応すべき内容だと思います。</p> <p>では、「なお、成果が得られない場合」以下の文章を削除し、困窮者への配慮等について記載するか否かは、事務局で再度検討してください。</p>
北野会長	<p>「下水道ストックマネジメント事業」ですが、皆さん内容はわかりますか。</p>
経営課長	<p>本事業については、委員の方から、もっと広い視野で、複数の指標をもって事業を進めるべきではないかとのご意見をいただきました。それを文章に落とし込んだ記載とさせていただいています。</p> <p>「ストックマネジメント」自体がよくわからないという点と、本事業が非常に様々な事業を内包していることから、広い視点から、複数の指標をもってというご指摘につながったものと考えています。内部的には非常に多くの指標を管理しているのですが、審議会に諮るために資料は限定的な内容となっているため、このようなご意見をいただいたものと考えています。</p> <p>ご指摘を基に評価として文章を作成しましたが、当局としては実態に即していない内容になってしまっていると感じています。そのため、評価いただく文章についてご検討をお願いします。</p>
平本委員	<p>文章の修正ではなく、限定的な情報を審議会に提示した結果の評価であると記載いただかなくてはいけないと思います。多くの指標がある中で、時間等の制約からピックアップしたものを審議会に提示した結果の評価であるとの前提を記載しなければ、審議会委員が実際には見ていない部分も見た上での評価と誤解されてしまうのではないのでしょうか。</p> <p>また、先ほど会長の質問にもありました、専門家がこの評価を見るのかという点について、上下水道局で活用されるだけでなく、審議会による評価として公開され、多くの方が見られるものと思います。</p>
北野会長	<p>現在の記載内容では、多角的視点としても、方向性の提示がなく、</p>

	<p>具体性に欠けています。事業の方向性や目的の記載が必要ではないでしょうか。</p>
<p>経営課長</p>	<p>内容を精査させていただきますし、文章を検討させていただきます。</p>
<p>北野会長</p>	<p>次ページ以降の個別意見をまとめたものが評価になっているのですか。</p>
<p>経営課長</p>	<p>そのとおりです。</p>
<p>北野会長</p>	<p>下水道事業の個別意見を見ても、評価につながっている部分を読み取れません。</p>
<p>経営課長</p>	<p>本資料と別に、前回お示しした各委員の意見をまとめた資料があります。それを踏まえた結果が、今回の内容になります。</p>
<p>北野会長</p>	<p>個別意見は特に不要だと思います。添付するのであれば各意見を取りまとめた結果が評価となっていなければおかしいのではないでしょうか。</p>
<p>経営課長</p>	<p>改めて作成し、提示いたします。</p>
<p>北野会長</p>	<p>(4) その他 議題「(4) その他」について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>経営課長</p>	<p>3点ございます。 1点目は、計画策定に係る今後の予定についてご説明します。 本日の審議内容を踏まえた上で、全庁に対して、照会を行います。その結果を持ちましてホームページ上に公開、広報紙にて周知の上、令和3年1月5日から18日までパブリックコメント手続きを実施します。 2点目は、次回会議を令和3年2月15日(月)午後2時からの開催を予定しています。内容については、パブリックコメント手続きの結果を反映した計画をお示しし、最終的な審議をいただく予定です。その結果をもちまして、水道ビジョン並びに水道事業経営計画</p>

<p>北野会長</p>	<p>について、答申書を提出いただく流れになります。その際に、併せて進捗管理の結果についてもご提出いただくことになると考えています。</p> <p>3点目は、去る11月13日（金）に、愛媛県にて行政改革に係る全国大会である行革甲子園2020が開催されました。当市の下水道マンホール蓋に係る有料広告事業の取組が、審査委員長特別賞を受賞しました。全国から73の優れた行政改革事例が、集まる中での受賞になりました。これも、本審議会のご指導、ご鞭撻の賜物と考えておりますので、ご報告と御礼を申し上げます。</p> <p>以上で本日の議事は全て終了します。</p> <p>4. 閉会</p>
<p>金子副会長</p>	<p>長時間の審議ありがとうございました。</p> <p>委員の皆さまのご協力もあり、水道ビジョン、経営計画共によりやくゴールが見えてきたのかなと思います。</p> <p>本審議会も残すところあと1回かと思いますが、皆さまもご自愛いただき、有終の美を飾れるようお願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第4回所沢市上下水道事業運営審議会を閉会とさせていただきます。</p>